

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>ノーライバル</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボール</b>
RG <b>2.470</b>	△RG <b>0.045</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離  
**4** インチ

番

**比較対照ボール：ライバル**

フレアーの幅  インチ

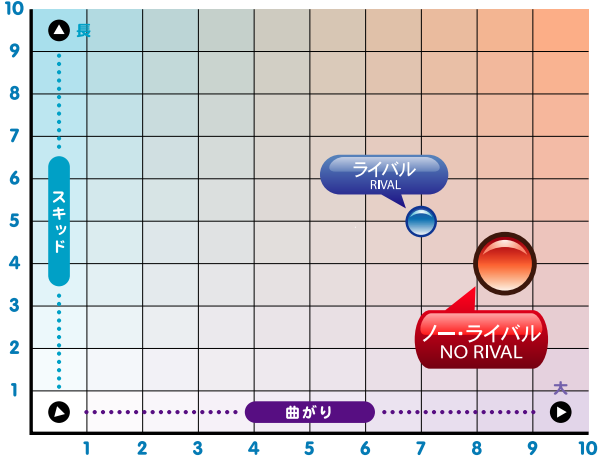
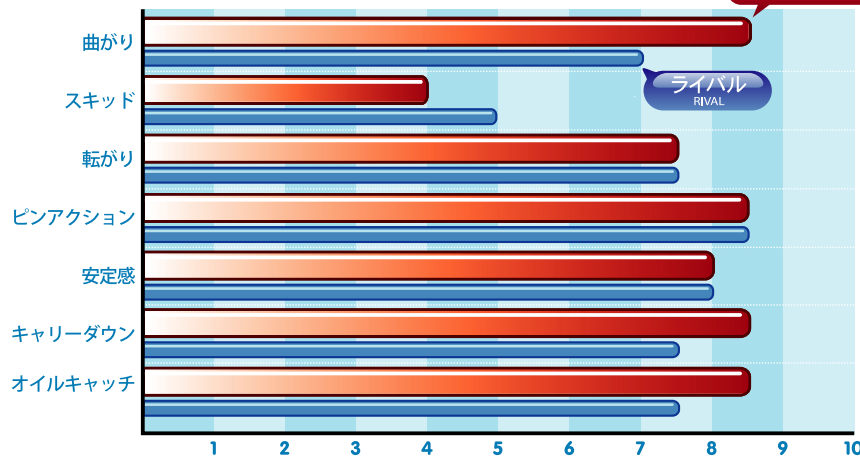
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離  
**4** インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

昨年8月13日全世界共通で発売されたRIVALは発売と同時に次なるスペック開発へとシフトしていました。今回のボールは発売前からネットを中心として話題に上がったのは昨年のジャパンオープンでの山本勲プロのパーフェクトゲームからでした。このNO RIVALは言わずと知れたRIVALの後継機。話題性もパフォーマンスも独占を目指し、満を持して発売です。既存のRIVALとの比較投球では、まず違うと感じたのはスキッドからHookまでの移行イメージと、RIVALよりもオイリーなコンディションで使用できること。RIVALよりバックエンドリアクションがアグレッシブなことです。RIVALよりも先での動きが強調されている分、曲がり幅は大きく感じ、その中からオイルを長く使いながら大きく幅を取り出し戻すラインが可能になりました。表面加工はマット仕上げですが、キャッチを伴いながらもある程度の走りは感じる事ができ、やや早目にパワーが出る感じもあるのですが、バックエンドまでそのパワーを温存できるだけの仕上がりには満足して頂けるでしょう。そのやや早目にパワーの出る感じがキャリアダウンの影響も少なく感じさせます。RIVALよりもさらにオイリーなコンディションで攻撃的にラインを攻めることが出来る性能は、この”NO RIVAL”のネーミングの由来でもあります。ライバルの追従を許さない! このボールで貴方にはもうライバルはいなくなることでしょ。

### 特記事項

**パワー・曲がり・話題性を兼ね備えたボールが満を持しての発売です。RIVALよりオイルキャッチ・バックエンドリアクションを強化し、攻撃的にラインを攻めることができます。**